


**GS1QRコードを活用した取扱説明書を軸としたコンテンツ  
ビジネスがもたらす期待**

三条PL対策協議会準備委員会




**2020年東京オリ・パラリンピックに向け訪日外国人増加**

2015年は訪日外国人1900万人達成見込！？

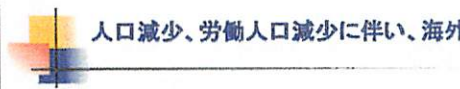
2020年訪日外国人2000万人の達成に向け様々な施策を講じ、すでに1900万人近い外国人が日本に訪れている。

一例として・・・燕三条

東京オリンピックで地方活性化、地方創世を図ろうと地域活性化首長連合事務局を置く



① 地場産業地としても海外観光客増加による売上アップへ期待  
訪日観光客へ多言語に対応した商品情報・説明ツールの提供



**人口減少、労働人口減少に伴い、海外労働者、定住者増加**

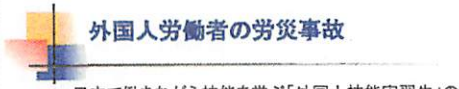
2020年まで：建設・建築労働者の不足～オリ・パラリンピック、東北復興～  
2020年以降：介護士、看護師、保育士、家事サービス、宅配ドライバー、小売業店員、飲食業店員等々。

先進国は少子高齢化で同様に労働力不足。労働人口を確保するために、他先進国との競合が始まります。

日本創生会議から発表された消滅可能性都市一覧では、1800市区町村中896の自治体が危機にさらされている。

例外なく私の住む燕三条地域も当問題に直面しています。

人口減少が導く労働人口の減少は各種産業に大きなダメージを与え、地域からは活力がなくなり、ものづくり産業からは魅力がなくなっていくます。



**外国人労働者の労災事故**


日本で働きながら技能を学ぶ「外国人技能実習生」の労災事故が2013年度に初めて1000人を超え、1109人に達したことが国際研修協力機構(JITCO)のまとめでわかった。 2015年7月13 朝日新聞より

【要因】 過労

言葉の壁(日本語で書かれた取扱説明書)

仕事に使う機械・道具などの使用方法が分からないまま見よう見真似で扱う事による怪我の恐れ  
→多言語化への対応

各言語ごとに印刷された紙の取扱説明書を用意？



② **外国人労働者の労災事故、外国人生活者の製品事故防止対策**

### TPP貿易自由化による海外製品との差別化

海外商品と国内市場での戦い(生き残り)  
 →低価格品と高級品の2極化による高級品へのシフトを図る  
 ★高級品販売には価格ではない魅力の説明が必要になってくる。

海外商品と海外市場での戦い(販路開拓)  
 →丁寧に作って、親切に説明する。日本的「おもてなし」説明。  
 ★世界標準に合わせた説明ツールが必要になってくる。



③ 世界標準のQRコードをスマホで読み取り、商品情報を閲覧

### 世界標準QRコード

GS1QRコードは世界共通コード

GS1QRコードは、GS1のアプリケーション識別子(各種データをバーコードに表示する際の標準ルール)を利用して、所定の方法でデータをシンボルに書き込んだものことです。一般的なQRコードと区別するため、「GS1 QRコード」と呼びます。現在の用途はこのモバイルでの商品情報やサービスの提供に限られており、商品コードと商品関連の情報提供用URLを表現するのが基本です。商品コードの属性情報も表現ができます。(一般財団法人流通開発システムホームページより)

読み込みソフト(アプリ)



ユーザーは、AndroidとiOSに対応したアプリを、App Store、Google Play上の専用アプリに誘導し、無料でダウンロードすることができます。

### GS1QRコードを利用した専用モバイルアプリによる製品安全の取り組み

多言語化への対応  
 基本となる日本語で印刷された取扱説明書  
 +  
 モバイルによる2次元コード(GS1QRコード)の読み込み  
 ※サーバーに格納してある多言語取扱説明書(PDF)を読み込む

ユーザーは取扱説明書をいつでもモバイルを利用し、商品本体に表示されたGS1QRコード(従来のQRコードとは異なります)を介し閲覧できます。



### 専用アプリのイメージ

**基本コンテンツ**

GS1QRコードを利用し、模倣アプリなどによる不正を抑制します。通常はリーダーをクリックし本体のQRコードから取扱説明書を閲覧します。プッシュ通知設定で自身で受け取る情報レベルを選択できます。

GS1QRコードの特性(リコール時の連絡に必要なユーザー情報を自動認識により取得)を活かしユーザーにプッシュメールを送り、安全情報を提供

④ 実使用者に製品安全情報、リコール情報を通知

### GS1QRコードを活用した取扱説明書を軸としたコンテンツビジネスがもたらす期待と普及へのお願い

- ① 訪日観光客へ多言語に対応した商品情報・説明ツールの提供
- ② 外国人労働者の労災事故、外国人生活者の製品事故防止対策
- ③ 世界標準のQRコードをスマホで読み取り、商品情報を閲覧
- ④ 実使用者に製品安全情報、リコール情報を通知

この事業を普及させるには、製造者、輸入事業者、流通小売事業者の協力が必須ですが**行政などの協力も重要となります**。  
今すぐこのシステムを利用され市場供給したものでも、これから5年、10年、時間の経過と共に経年劣化や使用者の知識不足による事故やトラブル、そしてリコールリスクを抱えます。これから5年後、モバイルを利用する事は当たり前という認識を持って頂き、一刻も早い実施をお勧めします。  
その為にも行政関係各所によるご支援を賜りたく存じます。  
※当該内容は開発中のため、実用システムとデザイン仕様の異なる場合があります。

・・・ご清聴有難うございました。